This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problems Mailbox.

砂日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

母公開特許公報(A) 平4-176460

©Int.CI.³
A 61 G 7/05
A 47 G 9/02
A 61 F 13/15
13/54
13/66

Ē,

識別記号 庁内整理番号

P

❸公開 平成4年(1992)6月24日

9163-4C 8118-3B

6908-3K

A 61 G 7/04 A 41 B 13/02

E P H

8118-3B 8118-3B

13/08

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全9頁)

砂発明の名称 床づれ防止の紙布加工品

②特 顕 平2-306634

❷出 顧 平2(1990)11月13日

砂発明者 田中

友 爾

大阪府豊中市宝山町19番8号

切出 願 人 田 中

友 爾 大阪府豊中市宝山町19番8号

明細書

り発明の名称

床でれないの成方加工品

2)特許請於 範囲

後丈記載の如く、布又は紙度革紙でプラスケ ツノ髪から成る、クロマッイルの飲み無紙を り加工した手板やこれを更に加工して作り たオシメカバー 布紙や庚草混合紙 フィル4 にハトムギ茶やタボニン又は藍紫になる 乾燥し バニリン、花皮酸フル デヒド、マンツァ いずでドチフルデンド類次を情かしら花面 作しした、加工所、飲いフィルのと別に、を教かし た布段フィルム面に有機酸に溶布したサケ ンナト破液と他の投着剤と混合して生物に 煩せいかを長のいと繭片やもりを面粉ませ 生株を熱湯に浸漬しょ、た取る肝に得られる チャンパセリンプルタミン同胞ファハラギ ン酸な有り温温症液を噴霧又は致布して皮 腹を作り、こり布紙やコイル人を転繰後すン ・ヒレスタ屋をレスリオシメタバー1412夜 理して、複合し、庭に三りを人で、月病人や幻光の様氏人とに起り暑い。在却の皮膚障害による赤がれた戸防丁る季氏特徴とする床で水行と行為加工品

1) 奎明 4 詳細な説明 こ,卷明は王前の廟出が集作,三下を所に 四出す時により、フィブロイン二を成婚を国 く経着すり、セッシンとセッングルフェンダ アスパラギン酸学、アミノ酸と至6分解離 まと利用し、これをオシメカバー均面の12シメ を越せつイルム値にこり生菌の発を切断しま 水に軽く浸潤後軟化したもりもロールゴ圧 して、展送した、主商製を切断して、細片加工レイ は夏に筋砕板に開する、粉末化したとうたスト スは低温影響しる前記布紙.フォルム面にそか 全中した。在面性接着分膜面に、塗着又气散布し 工提着セレガ教練したが紙フィルのは藍紫の した紙布ヤハトルデ茶イポニンな匠刺をやケ 軽硬した 畝布、フィルチを見れてすシスとして 加工し見にこれにオレスタバーに起込んだ

スンスカベーや吸收割を入水た積分級のオンメカバーから品やパンツの内面やタイルがや 無域布 東半腕 皮羊指添加のプラスナツクフィルムをセリシン派が全ち転線 セレめにま 両称と 空産セレ かた車を研放とする 皮膚を傷るを防うな 布紙 フィルムの床が小子防加工品のかかる、円谷である。

文化が無い欠点があり、濃度や濃度に たると反対に、皮膚炎を、なじゃ すり、欠点があり、 その為いは自然の産物から取った。抗菌新と保護野成時による、皮膚面の保護と発生する細菌を分解的素はよって抗菌性を高める 改善した 方にいまり、改善之外で床がれる防治と考へて 生顔の 頭髪の採りを行った。

生國程を作るには、両出ば栄養る肝に、口まのら出す生繭をは、通常シギョフィアロンはを延着なれる、所謂、延陽コロリンと考に出して、フィッピンの変を耐化による延化作用によって、作られた、王禄を、マンでは、ブルフは、砂路を、では、アン、アンペラギンをした、ちょから、構成されている。本の本では、「この生繭致中に、ないて、水の大きのでは、この生繭致中に、ないて、水の大きのでは、この生育なって、なって、水の大きのでは、この生育なって、水の大きの大きのでは、この生育ない、ない、この生育ない、ない、この生育ない、ない、この生育ない、

ラグチに、生まに特製したもりる粉末や雑穀柱にしたもりや、細木にしたもりも、敵面に発着したもりが、伏床が水子防と体をうなり、

之等は生株,主我分フィブロンギケギに介,

注いは 庆いれり 解消しならない、とり理由は 短耳間:我度之不(排床排便の行不仁3為 に反動の消毒管理が行り本難、事である. 又切見回り飲するりゃりく、使用されり様なる ったかこり飲オイツの構造とし、所換性や機 維系エーテレルした紙を皮膚との接触面に位 色むしのとう背面に、ポリアクリル酸塩がして ン・ルフルコール樹脂も今1セル再来做了核 可量なに、確保体就にインス サバー級を組合せ だものが使用されているがこの現水性の高い ガッフクリの乾隆ポリピェールフルュール紙 节,共享合物は、吸水、同环、肠法(2 4"儿杖 となり、機能向う多孔質的 とも閉鎖し直先性を 性し、悪化の情気は高の繁殖を促進し及者 美の子附に門でりまるばかりごなく之半の吸 收削力粉磨大師二人之為所傷官と不了之死 都力派度14年了3處寬八斯海2十3智寶。 出来とり改善大皇が上れていた。

スー般のオレス布地に被固制の運炉を行った

より結果は得う水ない。

一般りを来は、ファグのコイブロインと3のなりでラシンより成りが長頭及ス6~又/1"ラル/ヤニルン甲が率は、コルン3%、比重人133の一般イ連純して来である。この原来を、ノスのでは細くかつて、オートリレディが、からかりはこのである。この原来を、ノスのでは細くインゲーがにあると、ロシンは溶解して来るから、こり減さ同枚し、クへも借りアルユールで混合し、数時間放置すると、白色沢織物として、固性工作をの式、これを、アルユールで構製してが分野である。対解水液を減圧濃縮して冷却してる、次間ではなる。

スンタでリレンはつけるインに似た、骨を買い プリンン、アラエン、タロミンが少くなくで リンプルタミン酸、アスパラギン酸の多く。 このでリレンを安価で作るには主称が燃料に 「1」時に、生食を軽適中で加熱し、セリニンを除 しし、取化したフイブロイン静と作る解析にする 1・飛浪の目収によって得らよるがこり収する 略系が活性化学欠小年1多いのに果まから取った蛋白分解酵車やパイオテクノロジャトマン理度した大良酵素上添加する年により、活性と増く心しめる事も出来る。

ス、これでリシンを、フォルマリンや、クロール! オケバン、タンニン酸式浸渍し、凝固せしのためのも使用されるの活性度は、生顔段よりは野リンで3、ペンソアルデヒドは灰酸アルデヒドやパニリンご軽(処理したそのではですがでする。 などとは からる

スマインヤトサンタ有機酸溶解ベーストに 芝蘭教育を分散立也なおりを望れてりと皮膚 芝に有効性があり、特は、乳酸に溶解したもりた モノクロール酸水に溶解したキトサンを存ん に冷行して、水洗してアルカリズ中和した精製 キトサンを乳酸で溶解したもりは減価が充分 行はれ耐久松の高いもりが得らまる。

スニク面に更にアルギョン酸ソーダーからかるでなしたもクはマリンンが活性は失小手の

中で浸漬してインジカンを溶出せした葉99 酵素により加水分解は水でオレンダ色9インドキシルを作り会員酸化によってイングゴ を作る。

こうインピゴは、附から初来にあり横角性的 である。スハトヘギは、イネ科ター年華にヨクイ こことをえか小電台賞を14%を全しだけり 利尿剤として使用されてし、酸を含んでいる この気を質中には合解は水だセリン等のアミ 1酸を含んでいる。このみがギョン、アマケア ツル系の使用をからべ 三年は原由活動例の 作用がなり、リアトも、素性が無いりで、研唆であ 3.他の住屋で面削しし、インドネンアなりカイ プト油、タラ、ハミシネダールかの~60名を全なお功 も併用なんるみズイヤン ルトセール ピオナナ ルアルコーダ、ザラニオーシノントール学の伴 明まるる特に帯化科はパケダーや、アモケルた トンアルミンクのキレート化物給を併けてれる 又,前記がりせ、一ルアルユール環化和指に使 少くないばかりでなく、キトリンによってか決水は分易い。

次に任画以外の床がルケ防としては聖意素が 有物がある。この監は一年を真が複類が多く徳 身の産りものか有名が監り戻と幹る原料とし インドスミル配稿はイングカンとしてなるし

一般(イ)ゴタ生産は間在期の東を採集し海水

国了了程度報子ルデモドは育から、黒オピル打 レマ、の配差を育性と選度かるPRM、~12P RM 生成するマスフェリール ノののPRM ははし、非常に高い、スグルム階位の黄色マド ケ球菌や、微細桿菌にない、25PRM、の 3 PRM になり ブラム陰性の 大腸菌 はない、12 RPM 球膜菌にない、エケアアリニカリ フェーノー4つ ノケのの RRM とくラベルと 変現の 差がある。 マザアルデヒドは、カロベは、チのの RRM、から入陰 が直がは、チのの RRM、コンケアのM、から入陰 サルテル酸 フルギレンエーPRM、ガラム 健転的 効果がある。 カロットなレンエーPRM、ガラム 健転の カー・フェーの 4

カ が いなし, エテ PR M. プラム階極直で、12 5 PR Y エテ P. P. M. プラム隆性南 に なしを P. J. L. P. P. M. ノ2 5 P. P. M があっる。 ス フ レ リ ン, プロト ア ラ キ ー. フ ルデ ロドは 前店

10,20 10,10,10,10 RRM、接着410 20,30,10,30,30,RM、5万り 実用的には尽りの取かりフーリンの良い結果 でより他のを称とり組合とかより結果を提出

するスタトインの主管科はカニ甲環やよいもの 中的花表》:"力三甲基这一般运练雕片处理。" 脱さいるタイを行っ、水洗後、アルコリズ外化し て作りもといわれした甲龍の反応性やあいか 字個な方法は新費を水口港かした水に須暖し 1、電影でれば自然に脱カルンタの吹打なれる からこ本と水洗してルカリで洗涤した後に 影硬粉碎下机式干卜火火奶得多机上的磁板 随七,你用识断問之短縮下引之,触处路以 乳酸を併用して脱さいシャム するまも、股かい 三月八王提起了了知法力力的,脱氧性四方。 二·鹤童。展庆作用は一般,于茂,石龙颜 1後外理法として、利用はれてリるか、文学は養 白分解醉者による为果一高心能来以不2。 不会明は、えナ、皮膚面に接する、靴布面や、フィルム 面:15.至前处,细片也是9粉末已花雨化2万 3 項庫南ご耄着い次、延楽布紙は重ねて現水 削放を産力に大い×多星階級を組合せた。紙 イムッペータイルだりおオシメモ、加エする時は 皮膚受り 障害は少くなくなり、一般なれの成れ

シメリウ側に、お飲え草村合も、折にを願り知能して時、俺欲は、 セリシン、セリン、アマルのギン酸等4アリノ酸や、リポオテン核酸液を含むしたが飲え付用したもりは、行人性のカシ床がれる防、オシスとして有用である。

以上り様に生真致による有知性り外に至色をとり組合した技術制度面前の無毒化使用によって耐火研練性を高月床が入り豊国となるを有傷官を改善といめたもりより構成したなとメラルに、はんと組合した、円かが一を作る手によって床がれる。より改善した第二者用表資明でする。

こり登明の実施皇領を潤面によって、説明られば次り如くである。

オー国は全頭(すく)・側面関きえし生繭の中心 線がはミカツス・切飾し繭出(りな)を乗出は繭(なる) り数をオン国におす如く友げで、圧延残り曲 早ロール(84)にマンペァー(94)から踏革して 圧延しスレメの圧延と同様に引近ばして、ふしメれにオテ国の如く加工したものを印都視。 カッターレスアが国的のせいく3111年にかよす るそうすははられくりれくをかられぐらいた カツァーレ、そり1部の個片をオか同いはまり 四く右神代が有神した称な100~300×ツ シンとした作り相がする。

才6回。王崩蒋秉致力背西横全城(3)汉董中の 放台官执合也, 29上面《菜菜貌(c) is 15 C12 アニノ酸リガ茂酸液の外に、全解酪素パッパティ - 門をおえんで、少量の減能素を一クルナチャ ンキトイン液が変布されている。1619、吸水鉄で 学済タイリアクリル酸塩イクビ・ニルアルール 头重合胸腔式接著工业工"工、5月17月潜水城汽车 3.この補合故を重ねし、函端を投着したものか オンスとして、使用之れる。 ダク国はスト側層周 とおしたもうごオミメ オバー 何以数神し般状 チレスははおがパンツを着衣した使用する 午2回 14. 生廟翻片·特不(50) 有待唐斯兰准介 した展創に振掛けて、コーケングするれての移 着町は、いずれも抗菌性としばりご求している。 441は存成できょ背面に、モリン、ナトサレッス つな,蘇系被(20)の機像土丸, そり紫面 (),藍状の紋 13日)が、程度主作、近米級4日の程度とれ、その背易 1. 点是特;入了死防水故(九)《禄登之礼之两端 で持着しなるのが組合されてオシスを形成す 3. 二9 吸水做(44) 1二亿二酸化温素,100倍

格敦項 に西観化水 東い街電人れたものを使用 しも脱水放角性トレたものである(3)ののかなり すり国は公知のプレメカーバーAままし紙の役 て作によるのぐとの正面間を示し間の(*4)の ついた エーリ オパー でパンドはよりの間の(リム) 外側に接合すれ即口をもり(かん)にもパンドは少に ご場合工作パレツと同様に操作し両足を押口 はりはないとないだがンドと時付けし漏水を防 じひん)(14)は野花紙くのる。 シャパンツのの尻 静(18)9 内側に こり 才4 图 ス豆 オ8 剛 ク もっぴ 接着なれる固定なれる使用し、オコの関は扇白 思见(IC) に安眠した病人(c)の核大側面関とよす もりずパンツ神(2e)の屁節(4c)に、布オンメタ ブルモ も即股に挟着したものを、紅ゴ紅が国定 しパンツ(20)を着用したものを示してり布 オシェ コスル(日) はアル関に そり正面图を よし生動物(a) を持てした 樹脂 膜(20)地布 化(1日)にななし乾燥したもので、り布地には 予のを努力工ルセリンアニノ腹分解酵素液に リポスマン技酸の室が金優し軽燥でれたとう

て抵角指摘指の接着剤に混金工化でいる。
パンソ (20) マリ 国に 王面国 ままし、そり面に 発行
リラ もし、取積 一可能と するか このパル ツロイン 自身り 布地にも ロリンフェン酸、配系液の分子エルス、リテクご 再便用を、可能と うる。
オ13 国 は教布のりの王面 団 で、中央部に生 異称り

オーコ国は教育の手の手面間で、中央部に、生自なりなり、フェーの観点を実験放き生着でレダモのので、生前物(F)を、指面性接着割り取をF)とに放動を行したもので、布配はF)には、エルニアンの政府系列を列を対するようでは、

- こり花南朝は香料のフェリンパ使用エトスリン の数画化コイルイ(AF)か、その何をも日F)の場面に、芥水用として、ラミネートはれている。
- こり段面科は二酸化塩素エコノルフェンか使用でかなりる(に本本なりが水を(の)ニャンスを書)

ニケセリンアミノ性酸素液は生株から機能を加て「シザイル極化水を御用し ペインントップシンや、ペパイで酸素の外に、哲学歯からかか
阿朗東と分配培養しなるのが使用工人与老和に機能素で一クした傾用工人、そう分解単化

ノー・・ノー・・アルベラスス 三年は、マイフロオフ・セル化(た約末を介配室ケレミ、安定使用する。 スニの皮膚及に対する。セリシンで 残酸保護 い場にする、リングイン 株酸等によって、 支傷を修復するいある。フィブロインを、酵素が作用すると、シスケンを形成し、五年のアと、酸は交傷回脈に投立っ促出新として、如果がある。

入繭虫もお井し、酢素分解すると、葉かれの方 3.7~)酸、ビコミング得りなる。

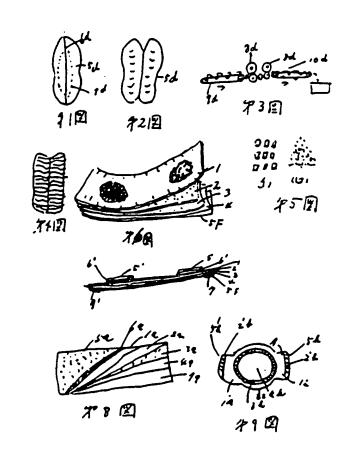
こりフィブロインもなれたしたまりほ化粧品のなれたして、使用エルるがセリンンクを有すると面の結れは更い、効用がある事はえぶるであるいがない。 准何重はノージを有が知果のあり、カトフィル間に、皮膚炎の発生率を測定した好

祖工本小的江王南阳广王花南北接着初了金属 し蘇色東の党をした版とセッシン会選旅程 わなもらずれりでなんだ若果があり田りは生蔵 *粉末と石色系(使用したものをおし(C)な 症も系織りもりをまし、のは、一般がイッツを えしたもりずあるこれは紙オムツログを知思 の皮膚炎傷度で、20人を行思せしたものがろ 3、二十四期中主有地比时以此为14月3日初起后。 以上の様にこり登明の研後は公知の飲からい ヤ.グスルケルを使用した オルツを使用した 最によりた人と病人幼児の多く巧なごれた なり易く,特に, 6月から, 9月頃に,多く発生する りは、皮膚炎による要因 ず通先性が悪く 第三派 度の為一倫ノンラー後性画の繁殖による傷なか 多!:こり鳥、不発明によって皮膚炎となった。 対策しし皮膚炎に保護被膜を形成する。セッシ ンタラー 生前の細片や粉末点皮膚面に搭飲む しりて破膜を移成也しめる旅にオンメロラニネ 一トして皮層面と道楼する庇幻面の位置と とう オンメ 面に 花園紅痒着 剤 ご 堂着もしめ

1.交着 4レカ3年によから床がれり干付き行か かこれと 史に、有動性を高りるに、花蔵行の直も まと特用レス、セリシンと同様に人工被膜形成 に関立のキャン、キトリン激にセリシン項を発 1日レスネゴルク皮層 気の保護被購形式で促進 七一的被腹形成後四、安定化了工作花雕作中下 しずし「類をだりじニール環化樹脂としょ併 用する事によったアルギェン酸ソージカルン り、将屋前、宅宅化を計り 又做オルツに使用 51.旺水剂,类臭E防("二二酸化塩素温酸化 物香町による、脱臭とプラム隆性面や陽性盾に 1と角の階距を抑え皮膚炎の栗岡を抑制 UT. オンスが紙も得別にからに吸水剤によればれ 北角の発生を押え香油によって和離性に沿州 作を押えるに、中化樹脂パタプーを写面粉かる湯 ない、機水性を高する、様いしたものである 文生年 6.张赫加工了3 路15.生了3 熱湯飛椒区 モリシン液とし、目枚して、布代又はパンツア タスと、東布に発着して、床でれるける。行る様に 了工好以怪的亲友,以等力使用因数至混耀年

に利用出来るので、セリミニ液やロリシンマト サン、キャン酸をが終に嘴霧する手によっても 皮膚炎の手防に知果いあり、蛋白分解酵素のが スモン役職、フミン酸の混入浴れば、炎傷後の目 低に投立な、産業と衛生上有用を発明である。 り間面の簡単を説明

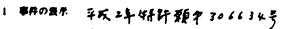
年 甲 大 南 今 〇



手統補正會

教 3 = 3 1 11

种种作品 东田 文教 殿



2 秦明环株 床水水粉上。旅布和空影

| 補正をする者

在所(通前) 大阪有量中市空山町17年8月 成者(名前) 田中 发面 图中

- 4 補正命令の日附 子成7年 2月12日
- S MEONA 明初春 周面
- 6 WEORS 對數4通9



7 13 E

内容 (年成2年時報報方3066349)
①明報書13頁20介分十回(1) 上月15年野(別別)
「新足します
②圧上14頁2行「アが関心」とおまた「アが出い」

7140

田台上 14頁 16計 786 町を 第7門に好るします。 あな」 12頁1計 786 町の日本まま 72別に対すし

の企上/5度 257 「マリス・あり」とあるを「いったいか」(ログ)
に対をします。

日全上ノ5頁を37 面場独立353 同地を信前 は1つのではに打をします。

のなと15月11万2月はそり、一月15万月月はオフロのにはまします/

ので上が東ノとけ、京を明、とあるを分りのいか正し

のなと16月15万中間とありを万の回に新正します。

の全に16章10付「ア6日る至7年間、本本を万7月 ・カを中間に記します。 の今と16章11付「ア10日」とあるを「ア11月に記

四次上16页16件节12回,2节13图12时工工工工

の断知者17頁2行「アル回」とあるを「オノン型に新工レンタで、

伊々上 17乗・ヤドオロ団、をアル町に町としょす。

Ø 因而1全部列放力化(訂正: 3 · E.

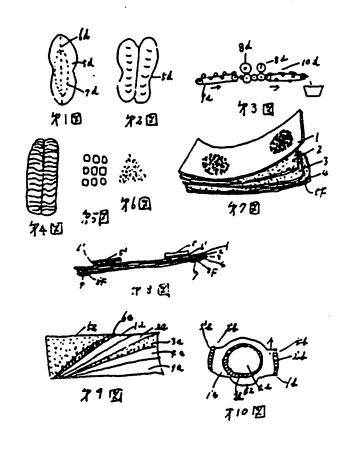
好什么预人 田下反司 感

に到田出東るので、セリシン液で、セリシン、キトナンキャン液の布紙に喧響する事によっての皮膚炎の予行に効果があり、蛋白合解酵臭りポイスン技能、アミノ酸の混入溶血は浸達性を高めるので炎傷後の田堰に役上の産業上衛士上有用を発明である。

幻四回, 簡单后說明

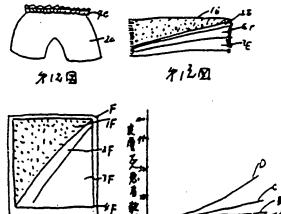
オー団は生真の正面団、ヤ2国は、生繭を分割した手面団、オ3団は、左近工程団、オイ団は、生繭のスルメ牧に、反近した子板の正面団、オケ団は生繭の細片の側面団、アイの団は、五両衛を数布室でしいめた種層があり、正面団、アイの団は、新石の町は、大人町は、ボンツがの上面団、アイス団は、バンツがの上面団、アイス団は、バンツがの上面団、アイス団は、バンツがの上面団、アイス団は、バンツがの上面団、アイス団は、バンツがの上面団、アイス団は、バンツがの上面団、アイス団は、アイタ団は、教育の上面団、アイケ団は、サイタ団は、東景にロボ3日数)。

好什么领人





为14日



日教 才/5四 BHO表示 不成2年7仟 計工學表7 30 667 4号

2 全明格特荣中北部上,城市站空险

5 相正の対象 明 和 子

ABORS かん。 はた



田客(海鳗科教2-70(11年3)

- の明細書の負別行うます。あるさらある又商を 強かけく水に加熱に不溶解してルギンンのとりつう ご使用しては電解職長で進行分離したものを電 所に国足化したものを含む
- の 今上13頁4行でする」とうると何れは前を延 他から外間はずみかし放び港かしたもりを光酸な模 越週割で電布後外理し又は電解送者・暖力 ルンケムや脱マデネシウムを行ったものや、大配合い を アルデンドモン疑国センのた紙布を積置したもり か代用るかる。
 - の全上14更20行である。との3をである。又生廟を 東市になりことは他と一旦港省して、恵泉を取 強は、程製しな生廟を堪化加らり、別マグネシウム 液で溶解したもりを管解遺跡(は週刊 確な 取除ま又は気酸とり他の酸で脱れにシケム 同で ブネミウムしたもりを 敵がに 淳却していずこ ン酸リーゲー 人を最切々他の動物蛋白、アルギニン酸リーゲー 人を最切々他の動物蛋白、アルギニンを を使用する。に 對モレキア

の全上15員、19「誠を」とあるを「誠而や生廟で編集祭を終れかれける、陸化てがおけると決るした一般を 金布にないなって解析製した淡を望布した紙を と」に計正します。

符許出賴人田中反南縣